

第 47 回創価大学・第 33 回創価女子短期大学入学式「祝辞」

—誠実にたくましく 生命の価値の創造を—

李 天 任

創価大学の原田最高顧問、田代理事長、馬場学長、創価女子短期大学の石川学長、ご来賓の皆様並びに新入生の皆さん、こんにちは。

私は現在、台湾の中国文化大学で学長を務めさせていただいております。中国文化大学は台北市にあり、陽明山の中腹に広がるキャンパスには楼閣がそびえています。この季節には、桜やツツジの花が咲き誇り、創価大学と同様、大変美しい光景が広がっています。

創価大学と中国文化大学は 1995 年 7 月 8 日に姉妹校の絆を結んでより、誠実且つ密接な交流を展開してきました。2003 年、中国文化大学は、台湾で初となる池田大作研究センターを設立し、2005 年には、世界に先駆けてわが校の創立記念日の翌日である 3 月 2 日を「文化創価友好の日」と決めました。2007 年には、「池田大作平和思想研究フォーラム」を開催し、これまで 11 回の開催を数えます。2013 年からはさらに青年フォーラムを行い、これまで 4 度開催致しました。

私どもは、池田先生の思想、創価の精神の研究と宣揚に全力を尽くし、各界から深い理解を得ているほか、様々な文化交流、教職員学生の相互訪問交流、芸術公演やスポーツ競技等の活動やイベントを活発に展開しており、世界の大学交流のモデルとなりうるものと自負しています。

皆様もご存知の通り、池田先生は、「対話こそ平和の根本である」と叫ばれ、一貫して世界の識者との対話を展開されてきました。対話を以て、背景の異なる世界の著名人や指導者と直接会い、交流され、智慧の対話から様々な可能性や共通項を模索し、人類の平和と生命尊厳を確立するための方途を導き出してこられました。

中国文化大学の理事長である張鏡湖博士と池田先生の友誼はとても深く、お二人は「教育と文化の王道」と題する素晴らしい連載対談をされ、2010 年 3 月 1 日のわが校の創立記念日に対談集が発刊され、人類の平和を目指す文化と教育に、歴史に残る証言を記してくださいました。

本日は、大変光栄なことに、入学式にお招きいただく栄誉にあずかりました。創立者池田先生に対しまして、最大の敬意を表しますとともに、理事長、学長、諸先生方、並びに池田先生の掲げる創立の精神に尽力される全ての皆様に心からの敬意を表します。貴大学の御業績を心から讃嘆申し上げますとともに、姉妹校の学長、教員として、また、一人の友人と致しまして、新入生

の皆さんに、励ましの言葉を贈らせていただきたいと思います。

はじめに、新入生の皆さん、本日は、誠におめでとうございます。創価大学に入学し、創価大学で学べるということは、大変幸運なことであり、また、幸せなことでもあります。どうか、皆さんは、このことを大事にさせていただきたいと思います。なぜなら、創価大学は人間教育、学生第一を重視する大学であるからであります。「創価」とは価値の創造との意義であり、この価値の中核は生命です。創価大学は創立者池田大作先生の建学の精神と理念を貫き、人間主義を出発点として、生命尊厳を守り、社会と人生のために、絶えず価値を創造し続ける人格、才徳兼備の創造的人間の育成に全力を注いでこられました。ですから、創価大学に入学できたということは、唯一無二の荣誉であり、ここで学ぶことは、全く新しい視野と展望を皆さんに与えてくれるに違いありません。

創価大学は学生の皆さんが智慧、勇気、慈悲を兼ね備え、異文化を尊重し、理解する創造的人材に成長されることを期待し、「Discover your potential - 自分力の発見」とのスローガンを掲げています。それはまさに、学生を中心とする「人間教育」の理念と合致するものであります。

一人一人の学生の才能を発掘するため、皆の未来のため、そして、一人一人が自らの手で夢をつかめるよう、大学は全力で応援しています。したがって、学生である皆さんの責務は、全力で学ぶことです。学生生活の中で、想像力豊かに、自己を開発し、失敗を恐れないことです。学生生活を充実させ、自らの智慧、体力、コミュニケーション能力を高める中で、自信が付き、自主性が養われます。そして、成長し、悠然と人生の目標を掲げ、実現していけるのです。

近年、日本は台湾と同様、経済的停滞期にあり、現実の環境は、若者が次第に夢を持って、夢を追うことをあきらめてしまうような状況にさえあります。しかし、これにより、若者の物質的な欲望が弱まるようなことがあっても、生命の価値に対する追求は、絶対に手放してはなりません。

創価大学の創立者である池田先生は、「労苦と使命の中にのみ人生の価値は生まれる」と語られ、学生の皆さんが、英知を磨き、労苦と使命の中で、人生の価値を生み出していかれるよう、期待されています。それは、中国の儒教の「任重くして道遠し」、「自らを励まして休まず」との思想、中国文化大学の校訓である「質樸堅毅（しつぱくけんき）」すなわち“誠実に、たくましく”と同じであり、これらもまた、青年が現実に向つ向から挑み、使命にひるまず、貫き通していくための励ましです。

中国文化大学の創立者である張其昀（ちょう・きいん）先生が作詞した校歌もまた、中華文化及び儒教思想を継承するものであり、内容は全て、中国の古典の名言を引いたものです。冒頭の「華岡の講学は中原の道統を継ぐ」すなわち“中国文化大学の教えは、儒教思想の流れを汲む”とは、大学の教育方針であり、学生の人としての振る舞いの指針でもあります。また、「天地の為に心を立て、民の為に命を立てる」との一節は、宋の時代の儒学者、張載（ちょう・さい）先生の言葉であり、「天人合一（てんにんごういつ）」すなわち“自然と人間の調和の思想”であります。

まさに、世界を知り、人類は皆一体であり、己の欲望を捨て、崇高な理念を抱かなければならないとする思想です。それは凶らずも、池田先生の「人生と社会のための価値の創造」、「人類の幸福と世界平和の構築」との目標と一致するものであり、若者が開拓し、奮闘しゆく前途を照らす灯であります。

日本の文化には、多くの素晴らしい伝統精神があります。特に私自身が敬服しておりますのは、「職人精神」です。一生を今いる場所での職務に捧げ、一道一芸に精魂を注ぎ、その道一筋に、決して心を曲げない、一途な精神です。このような物事に徹する姿勢は、道を悟る過程であります。生命に対するこだわりであり、物づくりをしながら、自らの価値をつくり出し、人々に感銘を与える、味わい深いものであります。

もし、この「ベストを尽くす」との精神で、新入生の皆さんが未来に学びゆくならば、必ずや独自の風格を確立し、学んだこと全てが実を結びゆくことを確信してやみません。

創価大学のエンブレムは、中央がペン、両側は鳳凰の翼となっており、ペンは英知、鳳凰の翼は世界への雄飛を意味しています。このエンブレムには、非常に深い意義があり、皆さんが大学の薫陶のもと、世界観を持った「世界市民」となり、英知を発揮して世界の舞台に雄飛する鳳凰に成長されるようにとの願いが込められています。同時に、「人類の平和を守るフォートレスたれ」との建学の精神が体现されているのです。皆さんは、創価大学の希望であり、誉れの存在であります。

世間の多くの学生は、大学を卒業する際、毎日をまじめに過ごさず、いたずらに歳月を過ごしてしまったことを悔やみ、焦りと不安の中、大学の門を後にします。皆さんは、大学の門をくぐったばかりです。決してこうした他人の轍を踏むようなことがあってはなりません。「収穫を望むなら、まず種を植えよ」とは、不変の道理であります。新入生の皆さんは、大学が与えてくれる資源と支援をしっかりとつかみ、自らの方向性を真剣に模索し、在学中の勉強プランを立て、充実させていっていただきたいと思います。そして、創価の精神を発揮し、自分自身のために、最高の価値を創造していただきたいと思います。

ここで、私が中国文化大学の学生に贈った7つの指針「Lucky 7」をご紹介します、皆さんと分かち合いたいと思います。ぜひこの素晴らしい機会を利用し、積極的に未来の様々な勉強に取り組む中で、以下の7つの大切な能力を備えていただきたいと思います。

1、志を立て、能力を培う：

優れた人を範とし、理想を実現する

2、知識の探求を喜びとし、理解に徹する：

一つの物事を把握することにより、全体を掌握し、生涯学び抜く

3、自らの頭で考え、新しい発想を持つ：

想像力豊かに、問題を解決する

4、文章力を培い、表現力を養う：

社会に関心を持ち、世界に積極的に関わる

5、自然に親しみ、環境を守る：

芸術を尊び、文化を楽しむ

6、自ら体験、努力し、人間関係の調和を図る：

健康的な生活を送り、生涯スポーツを行う

7、専門知識と道徳を備え、責任を持つ：

コミュニケーションに長け、寛容にして自信を持つ言葉と行動が一致し、誠実で信頼される世界市民となる

以上の7項目です。

14年ぶりに、本日、このように創価大学を訪問し、再びパイオニア吹奏楽団の演奏を聴くことができ、大変に感動しました。また、多くの新たな発見がありました。大学の発展の姿や教育プログラムはもとより、創価大学には、尊敬と学ぶに値する点が数多くあります。中国文化大学の創立には多くの労苦があり、創価大学と同様、崇高な教育理念を持ち、真剣に大学運営に取り組んでいます。創立より55年、既に台湾の人口の1%を超える26万人の卒業生を輩出し、実に台湾の100人に1人が中国文化大学の出身者となりました。卒業生たちは、世界各地に雄飛し、それぞれが自らの使命に徹し、力を発揮し、社会に貢献しています。皆さんも機会がありましたら、ぜひ中国文化大学と創価大学との交流プログラムに参加し、わが校を訪問していただきたいと思います。中華文化を知り、台湾の風情を体験し、教員や学生と交流していただき、共々に励まし合いたいと願っています。

結びに、貴大学の益々のご発展と、創価大学と中国文化大学の友誼が末永く続きますよう、心よりお祈り申し上げます。

そして、池田先生、最高顧問、理事長、学長、諸先生方のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

新入生の皆さん全員が大学の黄金時代を有効に活用し、最高のキャンパスの思い出を築かれ、全力で輝かしい未来を切り開かれゆくことをお祈り申し上げ、祝辞とさせていただきます。大変にありがとうございました。